

令和2年度 学校だより No.11

日滝小やんしゃ

令和3年2月25日
須坂市立日滝小学校
須坂市日滝1648番地
TEL 245-0203
文責(教頭) 浦野 康彦

いよいよ引き継ぎです！ 児童会長選挙 2月10日



来年度の児童会長を信任する児童会の役員選挙が行われました。候補者の5年東組 山際 修平さんと5年西組 須加尾 彩羽さんは、選挙当日まで、朝のあいさつ運動で「おはようございます。」「よろしくお祈りします。」と、元気よく大きな声を出していました。

お昼の教室訪問では、自分が児童会長になったら目指したい学校、やりたいことなどを説明してきました。選挙当日は、自分のマニフェストを力強く語っていました。それぞれの応援を行った推薦責任者の東組 高橋来隆さん、西組 矢澤 絢菜さんは、候補者が、いかに責任感があり、実行力に長けているかを伝えることができました。その後行われた選挙では、「この二人になら任せられる」としっかり判断し、責任をもって投票する姿が見られました。無事、二人とも信任され、二人で前期会長と後期会長を分担します。日滝小学校の伝統を守りつつ、また新しい日滝小学校を創っていく5年生の取組が始まります。

児童総会 6年生から5年生へ 2月24日



2月24日(水)に児童総会がありました。コロナ禍のため、ライブで行われました。各委員会から1年間の児童会活動の報告と反省が発表されました。6年生は、児童会活動をリードしてきた最学年としての立派な姿を見せてくれました。

「引き継ぎ式」で、6年生から5年生へ児童会ファイルが受け渡されるとき表情は、6年生は少しホッとしたような表情で、5年生は少し緊張した表情に見えました。「5年生の皆さん日滝小学校児童会をお願いしますね。」「6年生の皆さんありがとうございました。私たちに任せてください。」という心

の声が聞こえてくるようでした。

6年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

さて、5年生の皆さん、6年生から教えていただいたことを参考に、自分たちの手で新しい児童会をつくっていきましょう。





自分の体は自分で守る

性に関する指導月間
1/12～2/12



文責 養護教諭 吉澤 美代

日滝小学校では、性に関する指導月間を設定し、学年毎に、自分の体のこと、心の成長、友だちとの関わりについて学習しました。学年毎の指導内容は次の通りです。

- 1年：「プライベートゾーンを守ろう」
- 2年：「赤ちゃんのお話」
- 3年：「ねる子は育つってほんと？」
- 4年：「育ちゆく体とわたし」
- 5年：「二次性徴の復習」
- 6年：「6年間の成長を知ろう」



1年生「プライベートゾーン」という言葉と場所について学びました。「プライベートゾーンは自分だけの大事な部分。人に見せたり触らせたりしない」「他人のを見ようとしたり、触ろうとしない」ことや「自分の体と心は、この地球上にたった一つ。大切にしましょう」ということを、絵本「わたしのはなし」の読み聞かせを通して学びました。

2年生「あかちゃんのお話」という内容で、おへそのある生き物を知り、自分たちはお母さんのへその緒とつながっていて、栄養をもらっていたことを知りました。次に、女の子は卵子という赤ちゃんの卵を持っていること。男の子も命のもとである精子を持っていることを知り、写真で見ました。最後に、赤ちゃん人形をひとりひとり抱っこしてみました。



3年生事前に「すいみんチェック」をして、自分の睡眠時間や元気を調べてみました。3年生では10時間の睡眠が必要と知ると、子どもたちは「えー。そんなに寝てないや」とか「無理」という声が出ました。しかし、成長ホルモンが沢山出るには、夜10時前に寝ることが必要と知ると、自分の生活を見直そうという気持ちになりました。9時間は睡眠時間がとれますように、おうちの方の協力が必要です。よろしくお願いします。



4年生これから自分の体で始まる二次性徴について学びました。男女一

緒に、二次性徴で体にどのような変化が起こるのか学習を進めました。お互いを尊重する気持ちの大切さも学びました。おうちの方も、自分の体験をお話ししてあげてください。

5年生4年生で学んだ二次性徴の復習をしました。思春期になると、「ホルモン」が働き始め、大人になる準備が男女でそれぞれ始まるということを知りました。成長には個人差があるので、人と比べるのではなく、自分自身の成長を感じましょう。

6年生1年生の4月に測定した身長、体重を個人のカードに記入しておきました。そして、6年間最後の身体測定の結果を自分で記入して、6年間の差を計算してみました。一番身長が伸びた児童では50cmも伸びました。お子様の記録を見てあげてください。

限られた時間の中での指導でしたが、子どもたちの感想やお便りなどで、確かな学びを感じとることができました。性に関する学習は、おうちの方と一緒に協力しながら進めていくことが大切です。「自分の体は自分で守る」ということをこれからも親子で学んでいってほしいと思